学校番号	3031

令和８度　理数科

教科	理数	科目	理数数学特論	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校数学科用「数学Ⅱ」,「数学 B」,「数学 C」（数研出版）						
副教材等	サクシード数学Ⅱ，サクシード数学 B，サクシード数学 C （数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

①授業用ノートと問題集用ノートを準備する。
②授業を受け、疑問点があればその内容を授業者や周囲の生徒に質問、理解する。
③授業で学習した範囲のサクシード問題集を問題集用ノートに解答する。
④③での疑問点があれば②と同様に直ちに解決する。
⑤自分の実力を理解し、それぞれの習熟度に合った課題を設定して自主的な学習を行う。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
各単元の基本的な概念、知識を理解し、サクシード問題集のＡ・Ｂ問題を難なく解答できる。
【思考力、判断力、表現力等】
分野横断型の問題について、利用すべき知識を適切に選択し、解答できる。
【学びに向かう力、人間性等】
単元の内容に興味を示し、自ら新たな問いを考えることができる。また、必要に応じて他者と協働して理解を深めることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各単元の基本的な概念と知識を理解している。 また、それらを用いて基礎的な内容を適切に処理できる。	各単元の知識を用いて問題を論理的に考察し、その過程を表現することができる。また、分野横断型の問題を多角的に分析して用いるべき知識を適切に判断し、利用することができる。	各単元の内容に興味を示し、積極的に理解しようとする態度を身に付けている。 必要に応じて他者の力を借りつつ問題を解決しようとする態度を身に付けている。 単元の途中や終わりに取り組みを振り返り、理解の不十分な点を分析し、今後の学習につなげようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	微分法と積分法	微分係数 導関数 接線 関数の値の変化 最大値・最小値 関数のグラフと方程式・不等式 不定積分 定積分 面積	a:微分係数、導関数、接線の方程式を求めることができる。関数の増減を調べ、グラフをかくことができる。積分の計算ができる。 b:グラフを利用して方程式や不等式の解について考えることができる。 c: 発展的な内容に興味を持つ。疑問を積極的に解消しようとする。	考査 小テスト	考査 授業内の諸活動	提出物 授業内の諸活動 任意提出の課題
	数列	数列 等差数列とその和 等比数列とその和 和の記号Σ 階差数列 いろいろな数列の和 漸化式と数列 数学的帰納法	a:数列に関する用語, 記号について理解している。等差数列、等比数列の一般項、和について理解している。いろいろな数列の和を計算できる。基礎的な漸化式から一般項を求めることができる。 b:数の並び方からその規則性を推定して, 数列の一般項を考察できる。数学的帰納法を用いて命題の証明ができる。 c:発展的な内容に興味を持つ。疑問を積極的に解消しようとする。	考査 小テスト	考査 授業内の諸活動	提出物 授業内の諸活動 任意提出の課題
後期	平面上のベクトル	平面上のベクトル ベクトルの演算 ベクトルの成分 ベクトルの内積 位置ベクトル ベクトルと図形 ベクトル方程式	a:ベクトルに関する用語について理解している。ベクトルの基本的な演算ができる。ベクトルの内積の計算ができる。 b:ベクトルを用いて平面図形について考察できる。ベクトルを用いて数式について考察できる。 c:発展的な内容に興味を持つ。疑問を積極的に解消しようとする	考査 小テスト	考査 授業内の諸活動	提出物 授業内の諸活動 任意提出の課題

	空間のベクトル	空間の座標 空間のベクトル ベクトルの成分 ベクトルの内積 位置ベクトル ベクトルと図形 座標空間における図形	a:ベクトルに関する用語について理解している。ベクトルの基本的な演算ができる。ベクトルの内積の計算ができる。 b:ベクトルを用いて空間図形について考察できる。ベクトルを用いて数式について考察できる。 c:発展的な内容に興味を持つ。疑問を積極的に解消しようとする。	考査 小テスト	考査 授業内の諸活動	提出物 授業内の諸活動 任意提出の課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度